久慈川緊急治水対策プロジェクト

～多重防御治水の推進～

【令和7年度版】

○令和元年東日本台風により甚大な被害が発生した久慈川水系において、国、県、市町村が連携し、
「久慈川緊急治水対策プロジェクト」を進めています。

○国、県、市町村が連携し、以下の取り組みを実施していくことで、社会経済被害の最小化を目指します。
①多重防御治水の推進【河道・流域における対策】　②減災に向けた更なる取組の推進【ソフト施策】

○令和７年度は、堤防整備や河道掘削等の改良復旧、霞堤の保全と整備、越水・決壊検知機器の活用による情報提供の迅速化、講習会等によるマイ・タイムライン普及促進などを進めていきます。

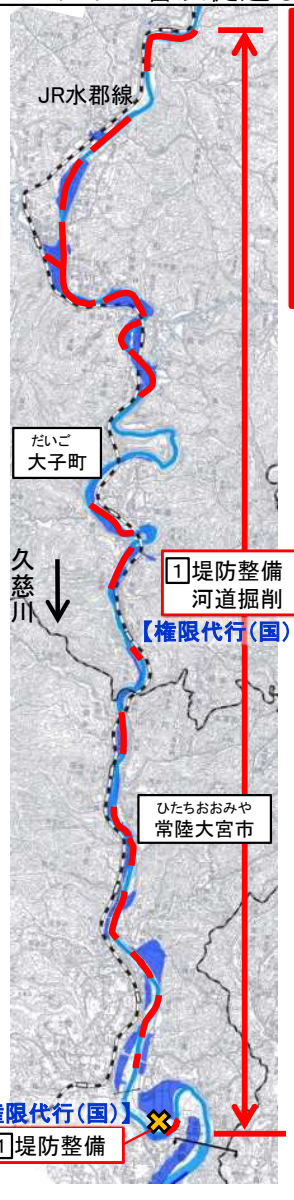
■河道・流域における対策

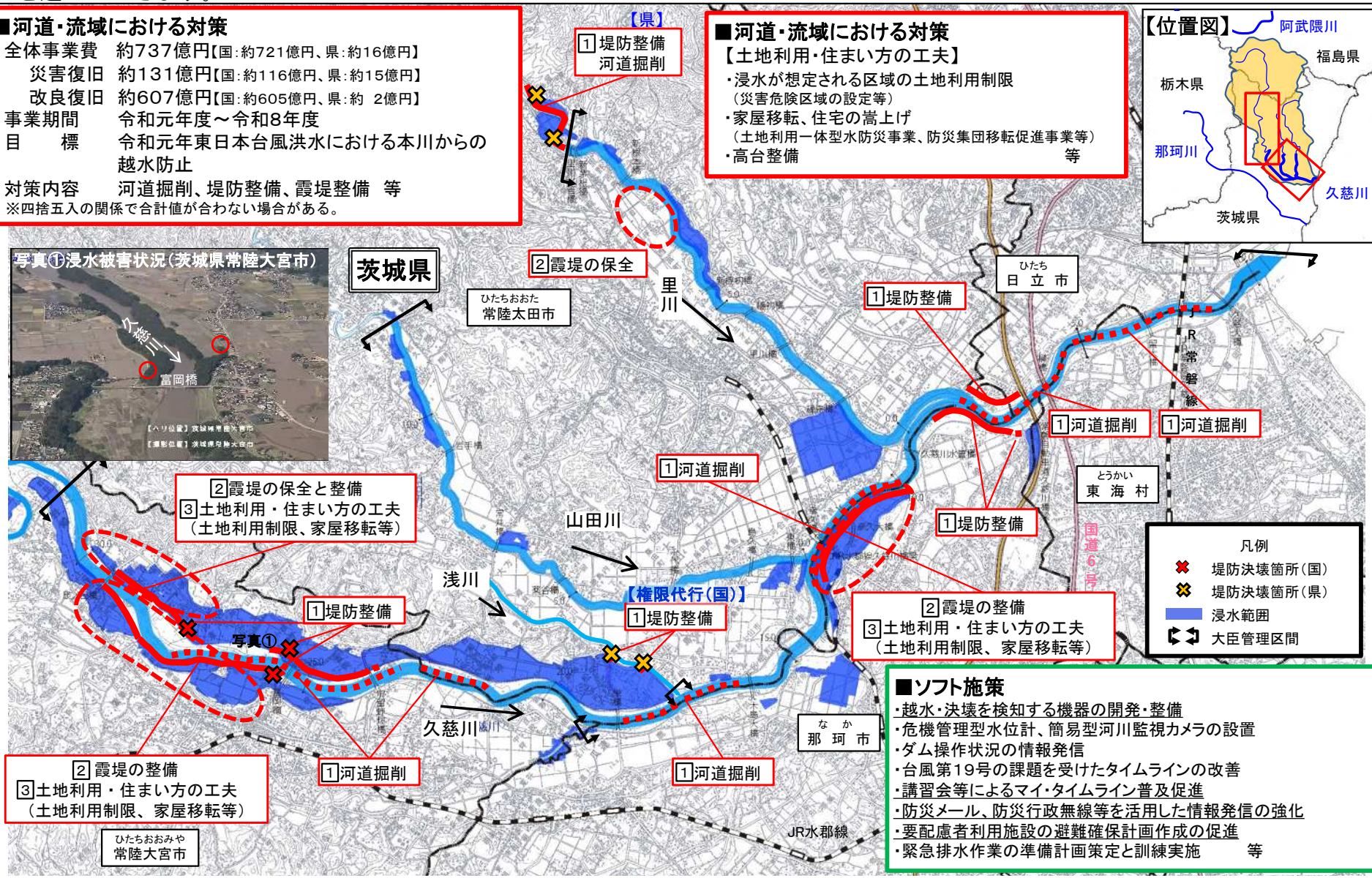
全体事業費	約737億円【国:約721億円、県:約16億円】
災害復旧	約131億円【国:約116億円、県:約15億円】
改良復旧	約607億円【国:約605億円、県:約　2億円】
事業期間	令和元年度～令和8年度
目　　標	令和元年東日本台風洪水における本川からの越水防止
対策内容	河道掘削、堤防整備、霞堤整備　等

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

■河道・流域における対策

【土地利用・住まい方の工夫】
- 浸水が想定される区域の土地利用制限
  （災害危険区域の設定等）
- 家屋移転、住宅の嵩上げ
  （土地利用一体型水防災事業、防災集団移転促進事業等）
- 高台整備　等





■ソフト施策

- 越水・決壊を検知する機器の開発・整備
- 危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置
- ダム操作状況の情報発信
- 台風第19号の課題を受けたタイムラインの改善
- 講習会等によるマイ・タイムライン普及促進
- 防災メール、防災行政無線等を活用した情報発信の強化
- 要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
- 緊急排水作業の準備計画策定と訓練実施　等